

米国オレゴン州旅行(1998)

—その21:ポートランド周辺(4)—

オレゴン旅行(21) - ポートランド周辺(その4)

7月21日(火)

いよいよ、ポートランド最後の日、即ち今回の旅行の最終日です。



ダウンタウンの中心部を散策することにした。ホテルの近くの公園では沢山の家族が一緒に水浴びをしていた。石で出来た 5m位の崖の上なので、柵でもないと、水で石が滑り

やすく危ないのでは思ったが 平気で水浴びをしていた。事故でもあれば日本では管理者（自治体）が攻撃されそうであるが 米国では自己責任が徹底しているのかも知れない。



5th と Madison の角にあるポートランドビルの正面玄関には銅版を打合せて作った女神像ポータンディア（Portlandia）があった。自由の女神に次いで全米で2番目に大きい像である。左の写真は道路を隔てたビルの2階から撮った。

次に 9th と 10th そして Jefferson と Madison の間にあるポートランド美術館（Portland Art Museum）を訪問した。ちょうど、古代エジプトの輝き（Splendors of Ancient Egypt）展が開催されていた。世界の偉大な文明の一つを生んだ古代エジ

プトから 200 点を超す珍品を展示していた（3月8日～8月16日）。主なものにはイア－ホーン オーディオガイドで説明を聞くことができた。王朝以前から7世紀に渡るエジプト文化が時代別に整理陳列されており、時代の流れを鳥瞰出来るようになっていた。西海岸での唯一の展示と言われており、たまたま、貴重な展示を見ることが出来た。入場料は一般13ドルのところ、チケットオフィスの人が"Senior?"と聞いて来たので、何歳からかと聞くと、"Age 55+"とのこと、当然 "Yes"で一人11ドル。入り口を入るとオーディオガイドを渡され、時間があれば、隣の部屋でロダンの"手"を展示しているの、是非見るようにととても親切な職員であった。確かにロダンの"手、手、手 - - -"が展示されていた。9月20日 - 1月1日には Monet: Late Paintings of Giverny from Musee Marmottan が開催されるとの事であった。美術館の向かいはオレゴン歴史博物館（Oregon History Museum）があり、インディアンの歴史や白人の西部への移動記録などを展示してあるそうであるが中には入らなかった。

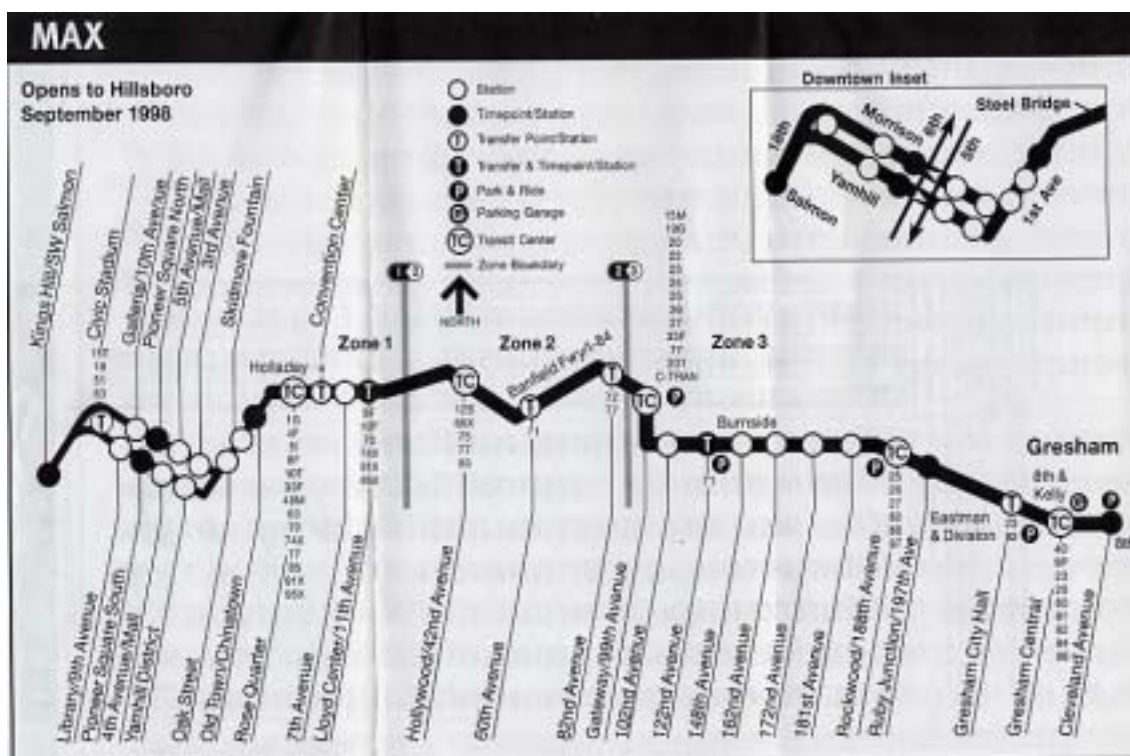


4th と 5th そして Morrison と Yamhill の間にはパイオニア プレイス（Pioneer Place）小さなショッピングモール。隣のブロックの Saks Fifth Avenue とはスカイブリッジで連絡していた。ここで次の2、3の店をのぞいた。

4th と 5th そして Morrison と Yamhill の間にはパイオニア プレイス（Pioneer Place）小さなショッピングモール。隣のブロックの Saks Fifth Avenue とはスカイブリッジで連絡していた。ここで次の2、3の店をのぞいた。

1. コーチバッグ（Coach）：時代を超えて人気の定番アイテムから、話題のニューラインまでバラエティー 豊かなラインアップが陳列されていたが、ただ見るだけのウインドウショッピング。
2. メンフィス（Menphis）：フランスの靴の老舗、サンダルを一つ購入。
3. コーヒー店（Starbucks Coffee）：買い物疲れで一服、ティッシュペーパー、紙コップと

もエコ製品。



その後、環境保全のために新設された MAX(Metropolitan Area Express) Light Rail にも実体験した。Pioneer Courthouse Square から乗った。この電車は市街地の西外れの Kings Hill/SW Salmon を起点に東方の Gresham 市まで走っている。今年(1998)の9月には、西方に延長され Hillsboro 市まで通じ、ポートランド市を中心に東西に伸びることになっている。料金は市街地が無料、その外は3つのゾーンに分かれており、All Zones は 1.35 ドル、2 Zones は 1.05 ドル、1 Zone は 1.05 ドル(2 Zones と同じ)、65 歳以上は Honored



Citizen で 0.50 ドル、Youth(18 and under)は 0.80 ドルなどである。我々は約 50 分かけて終点まで行ってみる事にしたので、1.35 ドル、バスとの乗り換え 自由であるが、2 時間以内の時間制限があり、往復で約 2 時間かかり、乗り換えはしなかった。途中検札が 1 回あった。ほとんどの駅に連絡用のバスターミナルと駐車場があった。ホームには自転車を つなげておく 鉄製の大きな輪が鉄柱に設置されていた。出入り口は低く出来ていて乗り降りが楽に出来るように配慮されていた。車椅子で乗り降り出来るドアも一つ付いていた。市街地は路面を自動車と共に走るの、ゆっくり走るが、郊外に出ると 100 km/h 位のスピードで 走っていた。途中コンベンションセンターや大きなショッピングモ-

ールのロイドセンターなどを通り、利用者の 便宜を考慮している事が分かった。電車には自転車を乗せられ、Bikes on Tri-Met が一つの売りものである。自転車ラックを使用する人ははじめに 5 ドルの許可証を購入する必要がある(期限は書いていない)。ここで終点の Gresham Cleveland Avenue で撮った写真を一枚(右の写真)。上の写真は MAX に乗車した Pioneer Courthouse Square の写真である。



ホテルへの帰り道にペンデルトン(The Portland Pendleton)に立ち寄った。オレゴンでペンデルトンウールを知らない人はいないほど有名な店。カジュアルからフォーマルまで揃えており、小さいサイズもあり日本人向き。ダイナース、JCBとも受け付けない、VISAはすでにリミットオーバーで何も買えずに引き上げた。

ポートランドには The Spirit of Chicago や The Spirit of Seattle と同様、ポートランド・スピリット(The Portland Spirit)と言う船上で音楽を聴き、夕食をとりながら緑の多い豪邸や市街の夜景を眺める 2~3 時間の クルーズであるが今回は乗船せず。